



「みんなで踊ろうPua Sakura」の様子



毎年秋には、坂井市のハートピア春江で発表会を開催している



クニエサカイフラスタジオを主宰する酒井久仁江さん(右)と「みんなで踊ろうPua Sakura」の振り付けを担当した次女の梨夏子さん

フラダンス教室 クニエ サカイ フラストアジオ

桜が満開を迎えた福井市中央公園。青空の下、そろいの衣装の踊り手たちがハワイの民族舞踊フラダンス(以下フラ)を踊っていた。ハワイでも人気がある森山直太郎の「さくら」をカバリーした楽曲に乗せたフラは、たおやかで優雅。見る人を幸せな気持ちにしていざなってくれるようだった。踊っていたのは、声掛けに応じて集まった「クニエ サカイ フラストアジオ」の有志たち。桜の季節の1日かぎりの舞踊「みんなで踊ろうPua Sakura」だ。2022年の春、コロナ禍が収束に向かい始め「自然を感じながら、みんなで踊れる幸せを感じましょう」と丸岡城公園で初開催。昨年は足羽河原でと場所を変え、3回目の今年は55人が参加した。福井市のクニエ サカイ フラストアジオには、3歳から80代までの男女300人が通っている。年齢や経験、目標に合わ

せて9クラスがあり、スタジオ以外にも県内各地の公民館など9カ所で開催している。2008(平成20)年にスタジオを設立して以来、累計1500人がこの教室でフラに親しんできたそうだ。緩やかな動きのフラだが、膝を少し曲げたまま、上半身と下半身では異なる振り付けを覚えるのは、筋トレや脳トレにもなるという。スタジオを主宰する酒井久仁江さん(58)は、平凡な主婦だった30代の時、夫が事故で九死に一生を得たのをきっかけに、命のはかなさや人生の意味について考えるようになったそうだ。「笑顔でいられる人生を送りたい」。その気持ちを前に押したのが、若いころに出合った魂に呼び掛けられるような古典フラだった。以来四半世紀、好きなものに打ち込む人生が始まった。フラは元々ハワイの神々に捧げる神聖な踊り。動きの一

つ一つに意味がある。下半身で踏むステップで大地とつながり、手の動きや表情はストーリーを表現している。「フラを通じて知るハワイ文化の奥深さは日本の文化にも通じるところがあり、魅力が尽きない」と酒井さん。「フラを踊ることで気持ちをリフレッシュし、生活の中に笑顔を生む源にしてほしい」と生徒にエールを送り、自身も「愛、感謝、自然の素晴らしさをフラで表現していきたい」と、思いを語っていた。教室に15年通うという60代の女性は「先生の前向きな姿勢に感化されて、ネガティブになりがちだった気持ちも前向きになった。教室に通うことで、内面的な穏やかさや心の豊かさも育っているように思う」と話し「ここは私の『パワースポット』です」と声を弾ませていた。

クニエ サカイ フラストアジオ

●福井市天池町39-5
●0776-56-0731
f ホームページ

※「みんなで踊ろうPua Sakura」の様子はYouTubeで見ることができ

あなたの知らない中国茶の世界

vol.12 中国茶の保存

おみやげに大きな缶入りの中国茶をもらった。中国に旅行に行って、ついつい買すぎた。そんなときでも大丈夫。中国茶は保存に関して寛容なお茶です。緑茶は不発酵茶なので、新鮮うちに飲んでしまう方がよいでしょう。未開封なら冷凍庫に、開封後なら冷蔵庫に保管します。鉄観音や高山烏龍茶などの発酵度の低い青茶も早めに飲み切ってしまう方がよいです。しかしそれ以外のお茶は、高温多湿を避ける。暗い場所に置く、密封する。この3点さえ守れば、あまり細かいことを気にする必要はありません。プーアル茶などの黒茶は10年、15年と経るうちに発酵が進み、味がまるやかになるといわれています。いうなればワインが熟成していくイメージ。その時その時のお茶の味を楽しんでください。



筆者：石泉美さん
北陸地方は湿度が高いので、お茶の保存は難しいのでは、と思われがちですが私は衣装ケースのようなものに除湿剤と一緒に保存しています。今のところ特に問題はなさそうです。

両方とも小分けにされた青茶ですが、発酵度の低い鉄観音などは、真空状態になっていることが多いです。一方、発酵度が高く、焙煎の効いた武夷岩茶(写真右は肉桂(ロウギ))などは空気の入った状態で売られています。真空状態で売られているお茶は比較的早く飲んだ方がよいでしょう

青空の下で楽しく乗馬体験

あわら市 乗馬クラブ パ・ドウドウ

待ち焦がれた青い空に白い雲。外に出るのが断然楽しくなるこの季節に、大自然の中で馬と触れ合う体験はいかがだろうか。北湯湖の南、湖と湖畔の風車が見渡せる絶好の位置にある「乗馬クラブパ・ドウドウ」。体験乗馬や曳(ひき)馬体験などのビジター向けのアクティビティーから、馬の預託、馬術の競技会出場者への指導、子どものスポーツ教室まで、馬と関わりたい人のさまざまなニーズに応える。その懐の深さからリピーターが多く、県内外から人が訪れる。広い敷地内にはクラブハウスや厩舎(きゅうしゃ)、室内・場内馬場を兼ね備える。代表の猪坂(いさか)英俊さん(58)は「馬とお客さんが安全で、ストレスが無ければいいというのを第一に」と朗らかに話す。

ら、馬に乗ってクラブの外に出る「外乗」がオススメだ。馬場を出て北湯湖までの農道を通るコースは初心者向けで、乗馬が初めてという人でも安心。インストラクターが馬との接し方や、体の使い方を丁寧に教えてくれるほか、各種体験前に馬をなでたり、人参をあげたりして馬とコミュニケーションを取る時間も設けている。馬のぬくもりを感じながら、いつもと違った高い目線で歩けば、新しい発見があるに違いない。幼児や「初めてですぐに馬に乗るのは怖いな」という人は、スタッフが手綱を引いて室内馬場を回る曳馬や、柵のある場内馬場で体験乗馬もできる。猪坂さんは「近頃は、穏やかな馬に癒やしを求めてやってくる人も多い。運動神経や年齢は関係なく楽しめるのが乗馬の魅力。馬はパートナー。お互いに敬意を払いながら楽しんでください」と話していた。



オーナーの猪坂さんと馬のグレイスクン

体験メニュー	
曳馬(室内馬場2周)	2,000円
体験乗馬	15分 4,000円
	30分 6,500円
	45分 10,000円
外乗	30分 6,500円
	60分 12,000円



乗馬クラブパ・ドウドウ
●あわら市赤尾50-4-1
●0776-74-0081
●午前10時～午後4時
●火曜日(祝日の場合翌日)
●あり
※各体験には予約が必要。電話またはメール(pado@pp5.nsk.ne.jp)で

紫外線から子どもの目を守ろう キッズサングラス



ソライズキッズの商品。思わず手に取ってみたいくなるようなデザインと色が目を引く。弾力のある、ほど良いホールド感や、クッション性のあるラバーですれにくく、4歳から小学校高学年まで長期間ワンサイズで使えるそうだ。価格は9,900円。商品は同社ホームページで販売するほか、目を守る活動に賛同した眼鏡店やセレクトショップなどで販売している。最寄りの店舗を知りたい人は同社にお問い合わせを。

5月はアウトドアを楽しむのに絶好の季節だが、紫外線が年間で最も多くなる時期とも言われている。大人も子どもも、帽子や日焼け止めクリームでの対策はもはや当たり前だ。一方、紫外線は目にとっても有害なことを忘れてはならない。子どもは背丈が低い分、大人以上に地上からの照り返しの紫外線を浴びるといふ。大人がサングラスをかけるように、子どもも目の紫外線対策が大切なのでは。坂井市のメガネメーカー「エリカオプチカル」は、医療現場などで使われる、眼を守る機能に特化したメガネの企画・開発・販売を手掛ける会社。2022年には「多くの人の目を守りたい」とオリジナルブランド「SOLAIZ(ソライズ)」を立ち上げ、翌年には子どものためのアイウェアブランド

12カ月連続開催 若手アーティストの展覧会 福井市文京 夕方画廊 分室ニホ

福井市の藤島高校グラウンド南側、白い小さなアパートの2階にある「夕方画廊 分室ニホ」。開廊2年目となる今年は4月から「RENGA」と題した企画展を開催している。福井にゆかりのある若手アーティスト総勢17人が、来年3月までの12カ月間、リレー形式で月替わりの展覧会を開く。「RENGA」というタイトルは、短歌の上の句と下の句を別々の人が詠む「連歌」から着想。アーティストからアーティストへ表現が受け渡され、広がっていくことをイメージしたという。表現方法は絵画や彫刻だけでなく、小説やアニメーションなどさまざま

コロナ禍を経て「より自由な表現の場、より芸術を楽しめる場を作ろう」と2023年6月、画廊をオープン。アーティストや美術愛好家の熱を受け取るうちに「生半可な気持ちではできない」と今年3月に喫茶室を閉めて、画廊の運営に集中することにした。岡本さんは「私にできることは場をつくること。それを正直にやっていきたい。アーティストが表現を抑えることなく、やりたいことを思いきりできる場になれば」と願う。「RENGA」の5月は福井市出身の20代の彫刻家・蟻塚知都(ありづかかずと)さんの「From a cell / To a cell」展を開催する。会期は12日(日)～26日(日)で、入場無料。12日(日)午後6時からレセプションを開催する。12カ月の会期中は、展示作品の販売のほか、関連したワークショップやグッズ販売も企画している。

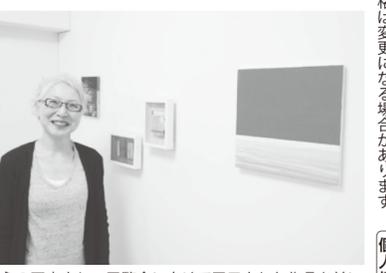
「SOLAIZ Kid's(ソライズキッズ)」を立ち上げた。社長の北弘一さんは「最重視したのは丈夫でケガをしないということ。子どもたちが、太陽の下で思いっきり遊んでも大丈夫な強さとケガをしない工夫、かけ心地の良さなどを親目線で盛り込んだ」と話す。子ども用の偏光サングラス、ソライズキッズはメディアでも取り上げられて注目を集め、昨年の第17回キッズデザインアワードでは奨励賞を受賞。評価は折り紙付きだ。日本では、海外のように子どもがサングラスをかけるのはまだ習慣化していないが、今後注目されていくのは間違いなさそうだ。

ミニ知識

サングラスを購入する場合には品質表示タグの確認を。「ファッション用グラス」となっている場合は注意が必要です。レンズの屈折力や平行度など、基準に適合していないサングラスはレンズにゆがみやひずみが生じ、長時間着用すると目に悪影響を与える可能性があります。

【取材協力】株式会社エリカオプチカル

●0776-66-8804



画廊主の岡本さん。展覧会に向けて展示された作品を前に

5月からのRENGA 12のリレー展覧会 2024*2025		
蟻塚知都	彫刻	5/12sun-26sun
おとしふみ	アニメーション	6/9sun-23sun
柏宮史恵	版画	7/14sun-28sun
飛鳥休眠	詩・小説	
扇谷このみ	本	8/11sun-25sun
西端夏生	短歌、詩	
瀬下昭彦	平面作品など	9/8sun-23mon
寺根千尋	粘土造形	
福田裕理	絵画・彫刻	10/13sun-27sun
小嶋千智	素描	
明城千佳子	絵画	11/10sun-24sun
松見知明	立体造形	12/8sun-22sun
西本昂生	CGアニメーション	1/12sun-26sun
小原麻奈未	ミクストメディア、平面作品	
高田慎也	油彩・アクリル画	2/9sun-24mon
西井徳徳	木彫・テラコッタ ドロ잉画	3/9sun-23sun

夕方画廊 分室ニホ
●福井市文京2-8-8 文京三谷ビル2階
●午後3時～午後8時 会期中無休
●画廊前3台
徒歩2分の場所に8台

読者からの便利コーナー

お題は「お薦めのお茶請け」

干し芋です。サツマイモを蒸してからスライスしてオープンでじっくりと焼いた干し芋は最高です！(福井市 50代 女性)

甘いお菓子。コーヒーや紅茶にはケーキ、日本茶には和菓子、大福なんて最高です！(福井市 60代 男性)

塩マスのお茶請け (福井市 60代 女性)

私のお薦めのお茶請けはチョコレートです。甘いチョコレートと少し苦い緑茶の組み合わせが好きです。特に足羽山にある「山奥チョコレート日和」のチョコレートと緑茶で一息つのが幸せな時間です。(大野市 30代 女性)

私のお薦めは、仙台にある「松華堂」のきなこサンドです。程よい甘さとサクサクしっとりとした食感で、口に入れた瞬間に幸せいっばいの気分になります！(福井市 30代 女性)

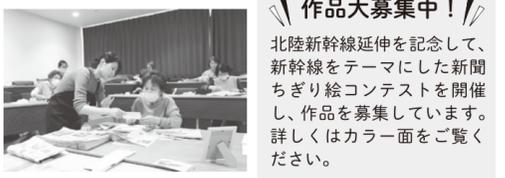
自宅でお茶を飲む時、冷凍のたい焼きと一緒に飲みながらつるいています。(福井市 40代 女性)

投稿募集

投稿してくださった皆さま、ありがとうございます。次回のテーマは「父の日」です。6月の第3日曜日は父の日です。お父さんのおもしろエピソードや思い出を教えてください。
※内容を変えない範囲で手直ることがあります。ご了承ください。

新聞ちぎり絵教室、大盛況でした

4月20日に「新聞で作るちぎり絵教室」が福井市観光物産館福福館で開催されました。17人の参加者が新聞ちぎり絵コンディナーターの山口伽音さんの説明を聞いた後、新聞のカラー面をちぎって下絵に貼り、「色のグラデーションを工夫した」「丸みを出すのが難しい」などと話しながら、個性あふれる色合いの作品に仕上げました。作品を手に入れた「手軽にできそうなので、続けてやってみよう」「満足しました」など、笑顔いっぱい教室でした。



作品大募集中！！

北陸新幹線延伸を記念して、新幹線をテーマにした新聞ちぎり絵コンテストを開催し、作品を募集しています。詳しくはカラー面をご覧ください。

水引風鈴教室

日時 5月26日(日)
午前部 午前10時～正午
午後部 午後1時～3時
場所 ハビリン2階の福福小屋
参加費 1,500円
対象 小学4年以上
定員 各部20人(先着順)
講師 東野睦美さん(水引工芸作家) 徳山珠江さん

福井県産の水引を結んでつなぎ、風鈴を作ります。音色椿が澄み切った音を奏でます。4色の水引から好きな色を選んで、自分だけの作品を作りましょう。

主催：日刊県民福井・中日新聞社
共催：福井市観光物産館福福館
問い合わせ・申し込み先
日刊県民福井事業グループ ☎0776-28-8618 (平日 午前10時～午後6時)

今月の読者アンケートプレゼント

紙面をより良くしていくためにアンケートにご協力ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

方 ①希望のプレゼント ②住所、氏名、年齢、性別、法務 ③電話番号、職業 ④現在購読の新聞名 ⑤おすめのおいしい飲食店 ⑥読者からのお便りコーナー、テーマ「父の日」への投稿を記入の上、下記のいずれかの方法でお送りください。

■はがき [宛先] 〒910-0005 福井市大手3-2-13 中日新聞分室内 「さんぼみち」5月号プレゼント」係

■メール osanpo@fukuikoho ID : @059fzwww 投稿フォームから-c.o.jp
■LINE ID : @059fzwww
■ホームページ

締め切りは5月20日(月)必着
※当選者の発表は、プレゼントのお届けをもって代えさせていただきます。

スタッフ日記

今月のカラー面「テイクアウトコーヒー特集」はいかがでしたか。筆者もコーヒーが何よりも大好きで、全日本コーヒー協会が制定した「コーヒーの日」が10月1日、筆者の誕生日と同じ日で何かつれ感じます。今回6店のコーヒー店を紹介させていただきました。どの店も個性にあふれています。ある店主は「コーヒーを飲んだ時のお客様のうれしいの一言と、あふれる笑顔がうれしい」と話されていました。お出掛けの際にはちょっと寄ってみて、みなさんの好みの1杯を探してみるのもいいですね。

※価格はすべて税込込み。内容、価格は変更になる場合があります。個人情報保護法 さんぼみちはお客さまに記入いただいた個人情報、さんぼみちとお客様がご来店された地域の販売店において適切に管理し、プレゼントの発送に活用させていただきます。